

## 第3章 プログラム実施スケジュール



## 第3章 プログラム実施スケジュール

### はじめに

平成25年度は、年間を通してプログラムを実施する最初の年であり、平成24年度プログラムを基に年間スケジュールを立てた。平成24年度プログラムからの主な変更点は、以下の通りである。

#### 1 受入プログラムの開始

今年度からは、千葉大学生の派遣に加えて、JASSO奨学金支援の基、連携大学の学生受入れプログラムも開始することになった。受入プログラムでは、2週間に渡り、千葉大学学生との授業づくり、研究室交流、日本文化体験等が行われた。

そのため、千葉大学の学生を派遣する前に、受入れプログラムを実施する必要があった。連携大学の都合等も勘案し、7月に2回に渡りインドネシアの5大学、そして11月及び12月に2回に渡りタイ、ベトナムの3大学の受入れを行った。千葉大学学生にとっては、授業改善のための現地のニーズを汲み取る機会となった。さらには、現地に派遣される前にASEANの学生と交流することによって、授業づくりに対する良い意味での緊張感の高まりと、英語での交流の機会となった。

#### 2 千葉大学国際教育センターとの連携

日本文化の授業づくりに関して、より高度に進めるために、千葉大学国際教育センターと連携し、事前授業を実施した。国際教育センターでは、授業づくりのために、日本文化を見直す視点や、それを効果的に表現するためのプレゼン方法などについて指導した。発表のコンペティション等を開催するなど、参加した学生は、積極的に参加することができた。

#### 3 連携大学の追加

本プログラム申請時には、タイの連携大学を2大学としていたが、本プログラムに興味を持っていただくなどしたため、タイのチュラロンコン大学、キングモンクット工科大学トンプリ校の2大学を追加した。交渉の時間が必要であるため、派遣時期は後期とされた。

#### 4 タイへの派遣中止と代替派遣の実施

2月にタイの4大学へ派遣予定であったが、タイの情勢不安により派遣を中止し、ウダヤナ大学に代替派遣を行った。12月からタイへの派遣を実施する（中止する）場合の基準を設け、1月上旬に基準に従い、派遣を中止し、学生に説明を行った。

以上の点を踏まえスケジュールを作成した。また、円滑にプログラムを実施するためにインドネシアの5大学と先行してMOA（Memorandum of Agreement）を締結した。

## 1. 年間スケジュール

今年度の年間スケジュールは以下の通りである。学生の受入れおよび派遣に加え、プログラム改善に向けた各連携大学とのコンソーシアム会議, その他 ASEAN 関係大学との会合も合わせて示す。

表 平成 25 年 4 月から 12 月までのスケジュール

月	募集・授業 受入・派遣	コンソーシアム会議	活動成果報告	その他
4	大学院ガイダンス(教育) 学生募集説明会×2	千葉インドネシア会		6大学会議(inタイ)
5	受講者確定 前期授業開始(~8月)	インドネシア5大学訪問		キングモンクット大学 (千葉) スプラスマレット大学 (千葉)
6		ベトナム大学ハノイ校学長ら (千葉)		
7	学生受入(インドネシア大 学・ガジャマダ大学・ウダヤ ナ大学) 学生受入(バンドン工科大 学・ボゴール農業大学)	インドネシア大学(ネット会 議) ナンヤン理工大学(千葉)		
8		キングモンクット工科大学 (ネット会議) 派遣直前会議(各派遣先大 学)		第1回採択大学連絡会 (京都)
9	学生派遣(インドネシア5大 学)  学長視察  教育学部教員視察	インドネシア大学学長と千葉 大学学長との懇談(インドネ シア)  ウダヤナ大学副学長との会 談(インドネシア)	活動紹介(静電気学会)	
10	後期授業開始(~2月) 大学院説明会  ナンヤン工科大学・在シンガ ポール日本大使館	インドネシア5大学との TWINCLEに関するMOAの検 討開始 インドネシア大学(ドディ先 生)(千葉)	中間報告会	
11	受入(チュラロンコン大学・ベ トナム大学ハノイ校)		ツインクル体験者報告会	
12	受入(キングモンクット大学)	キングモンクット大学(千葉)		

表 平成26年1月から3月までのスケジュール

月	募集・授業 受入・派遣	コンソーシアム会議	活動成果報告	その他
1	タイ派遣中止・インドネシア へ振替決定	マヒドン大学・チュラロンコン 大学・在タイ日本大使館 キングモンクット大学(ネット 会議)  ウダヤナ大学学長・副学長 (千葉)	早期募集説明会	
2	学生派遣(シンガポール・ベ トナム) 学生派遣(インドネシア) 学生派遣(カンボジア)	インドネシア大学工学部長 (千葉)	早期募集説明会	第2回採択大学連絡会・ 合同シンポジウム(京都)
3		TWINCLEプログラム全体コ ンソーシアム会議	派遣学生ファイナルプレゼン テーション	

## 2. 学生募集・選抜について

### 【学生募集にかかわる実績】

#### 1. ツインクル派遣説明会（平成25年度派遣学生対象）

第一回： 4月17日（水） 昼休み

第二回： 4月19日（金） 昼休み

第三回： 4月19日（金） 18時～18時半

##### ○ 参加人数

延べ109名

##### ○内容

- ・概要説明（本プログラムの目的、スケジュール、各コースの説明など）
- ・単位について
- ・申し込み方法
- ・質疑応答

##### ○主な質問

- ・単位について
- ・事前授業について
- ・求められる英語力について

#### 2. インドネシアウィーク（平成26年度派遣学生対象）

12月2日（月）～6日（金） 昼休み

##### ○参加人数

延べ24名

##### ○内容

- ・前期派遣学生によるプレゼンテーション
- ・質疑応答

##### ○主な質問

- ・参加してよかったこと
- ・大変だったこと

#### 3. 早期募集説明会（平成26年度派遣学生対象）

第一回： 平成26年1月20日（月） 昼休み

第二回： 平成26年2月5日（水） 18時～18時40分

第三回：平成26年2月12日（水） 昼休み（松戸キャンパス）

○参加人数

延べ21名

○内容

- ・概要説明（本プログラムの目的、スケジュール、各コースの説明など）
- ・必要経費について
- ・申し込み方法
- ・質疑応答

○主な質問

- ・ショートコース参加者のリピート参加について
- ・求められる英語力について

#### 【選抜の基準】

選抜は、1) TOEIC スコアを評価基準とした英語力、2) 志望動機等からみる意欲の強さ、および3) プログラム参加によって今後の活躍等の成果が期待できるかどうか、の三点を主な観点とし、TWINCLE 担当教員と教員養成開発センター教員で厳正な協議によって行われた。

基本は書類選考であるが、必要と思われる学生には個別の面接を実施し、総合的に評価を行った。

### 3. 渡航前事前授業

派遣学生は、渡航前に事前授業を受け、その中で、授業開発と英語力の向上に努めた。前期派遣学生の事前授業は5月から8月まで、そして後期派遣学生の事前授業は10月から翌年2月までであった。授業日程は次頁以降を参照されたい。

英語の授業は、昨年度同様にブリティッシュカウンシルに委託し実施された。授業回数は12回であった。さらに、前期には、非常勤講師によるCALL 英語も実施された。

授業づくりの事前授業では、科学と日本文化の授業づくりがなされた。科学授業は、理系研究科及び学部学生の研究テーマを基に、その研究の良さや面白さに焦点を当てて授業作成するように指示された。科学の専門的な知見からも授業を検討するために、昨年度と同様、教育学部教員に各ユニットのメンター教員として担当してもらった。メンターとして担当していただいた教員は表の通りである。前期派遣の日本文化の授業作りに関しては、千葉大学国際教育センターが主に担当し、学生の指導に当たった。

今年度からは、ASEAN の連携大学からの学生受入プログラムの実施も始まった。千葉大学学生は、ASEAN からの学生との協働によって、各校のニーズや現状にあった授業づくりを行うことが可能となった。また、派遣前に友情を育むことにより、現地でのサポート体制が充実した。

表 前期派遣ユニットの担当

担当教員	ユニット	トピック
東崎先生	L	圧電素子
	B	圧電素子
鶴岡先生	DE 合同	都市開発
藤田先生	O	Fungi and bacteria in our lives
加藤先生	M	光のしくみと表現方法
山下先生	C	Dye Sensitized
林先生	K	Activated Carbon
大和先生	N	Plant pathogen in our life
板倉先生	G	Radio wave
高木先生	I	Remort sensing
山野先生	A	Wireless communication
野村先生	H	Water purification
飯塚先生	F	E-paper (Kindle?)
	J	Sound Recognition system

表 後期派遣の担当

担当教員	ユニット	トピック
野村先生	A	タンパク質の機能科学
加藤先生	B	ホログラフィ
飯塚先生	C	ホログラフィ
大和先生	D	生態学
山野先生	E	電磁誘導
東崎先生	F	太陽電池 (カンボジア)
野村先生	G	免疫と DNA の構造

※タイ派遣中止に伴い辞退者が出たため、派遣に際しては B、C、G のメンバーでユニットを再編し、新たに B とした。授業については日本文化を取りやめ、「ホログラフィ」と「免疫と DNA の構造」2つを実施した。



表 前期事前授業の日程表

		ブリティッシュカウンシル	ASEAN展開授業研究	日本語教育・日本文化概論	グローバルプロジェクトワーク	
2013/6/3	Mon	○ 16:10 - 17:40(5限)				
2013/6/4	Tue	○ 16:10 - 17:40(5限)	17:50-19:20 (6限)			
2013/6/10	Mon	○ 16:10 - 17:40(5限)		17:50-19:20(6限)		
2013/6/11	Tue	○ 16:10 - 17:40(5限)		17:50-19:20(6限)		
2013/6/13	Thu			17:50-19:20(6限)	19:30-21:00(7限)	
2013/6/17	Mon	○ 16:10 - 17:40(5限)	17:50-19:20 (6限)		19:30-21:00(7限)	
2013/6/18	Tue	○ 16:10 - 17:40(5限)	17:50-19:20(6限)			
2013/6/24	Mon	○ 16:10 - 17:40(5限)				
2013/6/25	Tue	○ 16:10 - 17:40(5限)				
2013/6/27	Thu				19:30-21:00(7限)	
2013/7/1	Mon					
2013/7/2	Tue	○ 16:10 - 17:40(5限)	18時・ウェルカムパーティー	インドネシア大学・ガジャマダ大学 の学生が参加。		
2013/7/3	Wed					
2013/7/4	Thu					
2013/7/5	Fri					
2013/7/6	Sat		13時-16時(3・4限)			
2013/7/7	Sun					
2013/7/8	Mon					
2013/7/9	Tue	○ 16:10 - 17:40(5限)				
2013/7/10	Wed					19:30-21:00(7限)
2013/7/11	Thu		13時-16時(3・4限)			
2013/7/12	Fri					
2013/7/15	Mon					
2013/7/16	Tue	○ 16:10 - 17:40(5限)	18:45・ウェルカムパーティー	ポゴール農業大学・バンドン工科大学の学生が参加。		
2013/7/17	Wed					
2013/7/18	Thu					
2013/7/19	Fri					
2013/7/20	Sat		13時-16時(3・4限)			
2013/7/21	Sun					
2013/7/22	Mon					
2013/7/23	Tue	○ 16:10 - 17:40(5限)				
2013/7/24	Wed					
2013/7/25	Thu		13時-16時(3・4限)			
2013/7/26	Fri					
2013/7/31	Wed				16:20-19:20(5・6限)	
2013/8/3	Sat				12:50-16:00(3・4限)	
2013/8/6	Tue		12:50-16:00(3・4限)		12:50-16:00(3・4限)	

表 後期事前授業の日程表

		16:10 - 17:40	18:00 - 19:30	19:30-21:00	教室	備考
2013/10/7	Mon	英語	カイダンス	講義「ASEANにおける教育」(馬場)	2203	
2013/10/8	Tue	英語	講義「理科授業づくりの視点」(大鷹)	理科授業づくり(大鷹・馬場)	〃	
2013/10/9	Wed	英語	講義「日本文化授業づくりの視点」(馬場)	日本文化授業づくり(馬場・大鷹)	〃	
2013/10/12	Sat		ツインクル前期派遣学生発表会への参加(13:00-15:10)	2205		
2013/10/16	Wed	英語	—授業づくり①—	2203		
2013/10/21	Mon	英語	授業づくり②	〃		
2013/10/23	Wed	英語	授業づくり③	〃		
2013/10/29	Tue	英語	授業発表会①(チューター教員と合同)	〃		
2013/10/30	Wed	英語		〃		大学祭前日
2013/11/6	Wed	英語	授業づくり④	〃		
2013/11/10	Sun		チユロコン大学・ベトナム大学学生来日予定	計21名の予定		英語以外の授業は、チユロコン大学・ベトナム大学へ派遣される学生のみ参加
2013/11/11	Mon	英語	ウエルカムパーティ	(留学生カイダンスは2203)	未定	
2013/11/12	Tue	英語	授業発表会②-1	2203		英語なし(11/10)
2013/11/16	Sat		授業づくり⑤-1(13:00-16:00)	5102		院試(11/10)
2013/11/20	Wed		授業づくり⑥-1	2203		推薦入試(11/16, 21)
2013/11/21	Thu		留学生のツライナルセンターセッションへの参加(3限)	2205		時間変更(11/16)
2013/11/27	Wed	英語	授業発表会③	2203		奨学金支払い(11/14以降)
2013/12/8	Sun		キングモント大学学生十教員2名来日	13名十教員2名		注:全学生ユニオ外参加
2013/12/9	Mon	英語	ウエルカムパーティ	(留学生カイダンスは2203)	未定	キングモント大学へ派遣される学生のみ参加
2013/12/10	Tue		授業発表会②-2	2203		(マビドン大学へ派遣される学生も参加可)
2013/12/14	Sat		授業づくり⑤-2(13:00-16:00)	〃		時間変更(12/14)
2013/12/18	Wed		授業づくり⑥-2	2203		
2013/12/19	Thu		留学生のツライナルセンターセッションへの参加(3限)	2205		
2014/1/24	Fri		授業発表会④(模擬授業)	2203		
2014/3/15	Sat		ツライナルセンターセッション(13:00-16:00)	けやき会館		

個別指導あり(4コマ分)

## 4. 成果報告会

派遣学生が自らの活動を振り返り、今後の活動に活かす機会を設けるために、成果報告会を開催した。実施時期は、中間報告会として前期派遣が終了した10月、最終報告会として後期派遣が終了した3月であった。それぞれの報告会の詳細は以下の通りである。

### 中間報告会

期日：平成25年10月12日（土）

発表者：平成25年度前期派遣学生（15ユニット）

参加者：平成25年度後期派遣学生、千葉大学教職員

発表形式：ポスター発表

言語：ポスターは英語で作成、発表は日本語でも可。

その他：優秀発表賞として「Rainbow Award」を創設した。

### 最終報告会

期日：平成26年3月15日（土）

発表者：平成25年度前期及び後期派遣学生（20ユニット）

参加者：ASEAN 連携大学及び受入高校教員等、外部評価委員、千葉大学教職員、高校生および高校教員

発表形式：ポスター発表、パワーポイントによる1分間プレゼンテーション

言語：英語

その他：優秀発表賞として「TWINCLE Award」を創設した。高校生を対象とした科学プログラム「サイエンススタジオCHIBA」の「第6期マスターコース修了発表会・高校生ポスター発表会」が共催し、高校生30名程度と引率の高校教員も参加した。



ポスター発表の様子



最終報告会の記念撮影

